

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2025年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱
工期	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日		作成者	加藤 雅人
作業名称	排水溝清掃	作業手順書	作成年月日	令和4年5月6日
使用機械 使用設備	ハイエース、プロボックス		改正年月日	令和4年8月10日
	スコップ、ほうき、はしご、ロープ、手鎌(利き手に応じたもの)、パール、ブロワー		現場責任者	
使用工具、機器	草刈機(第3者被害の恐れのある箇所はトリマータイプを使用)・チェーンソー		協力会社	会社名
			協力会社責任者	自署サイン
保護具	安全帯、ヘルメット、安全靴、脚絆、防護メガネ、マスク、視認性の良い作業着、ハチ対策グッズ 手袋(草刈り作業時は耐切削用)、振動工具使用時は耐振動用)、チャップス(チェーンソー使用の場合)		作業順序	
材料				
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	自動車運転免許証 (振動工具、刈払機取扱い作業者)			
作業人員	作業責任者 1人、作業員 4名、保安員 2人			
	合計 7名			
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日		
	(役割を確認してこの作業に関わる全員が自署サインする)			
1		作業ヤード確保		
2		現地確認		
3		事前準備		
4		事前草刈り		
5		清掃作業		
6		片付け		
7		現場離脱		

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○○	○△	○×	○○	1:極めて小さい 関係者に対策の周知
能	△:時々発生する (1年に1回程度)	△○	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい 関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×○	×△	××	△×、△△、×△	3:中程度 職長が確認
性					△×、×△	4:かなり大きい 工事担当責任者が確認
					××	5:極めて大きい 十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目	手順	急所	リスクの洗い出し	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための実施すべき事項の特定 (防止対策)
(誰が)	主なステップ	作業のポイント	(予想されるミス・ロス)						
準備作業(全員)		健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。工事車両幕がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。							
現地確認(全員)	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
	ケーブル等周辺安全確認(埋設物・構造物)	管理用図面で事前確認	図面がない露出ケーブルを剣スコップや鎌で損傷させる	△	×	△×	4	安	作業前に全員で現場を確認し、ケーブルの有無を全員が把握する
現地確認(全員)	作業箇所確認	危険ポイントの確認	現地確認中に蜂に刺される	×	△	×△	3	安	必要がある場合は、事前の蜂調査を行う
	周辺安全確認(埋設物・構造物)	埋設物は管理用図面で事前確認							
事前準備	開口部がない場合はフェンスを乗り越える	フェンス乗り越える場合はフェンス乗り越え手順書を確認	重量物を降ろしたり運ぶ際に腰を痛める	×	○	×○	3	安	重量物を運ぶ際は、2名以上で声を掛け合いながら運ぶ。
事前草刈り	支障のある草木がある場合は清掃前に除去	作業箇所の確認を行い、必要に応じて草刈りを行う。責任者は作業員が作業に適した保護具を着用したか確認する。	手鎌や機械で手を切る	△	△	△△	3	安	草刈りを行う場合は耐切削用手袋を着用する。草刈り機・チェーンソーを使用する場合は有資格者による作業を行う。繁茂している箇所については鎌ではなく、草刈り機・チェーンソーを使用すること。
	道具の選定が現場と合わない場合は再度道具や施工方法を検討する								
清掃作業	排水溝内をスコップや鋤鎌等で清掃を行う	集水マスが詰まっている場合はマスを開けて清掃する	清掃中、排水溝内に足を取られて転倒する	△	△	△△	3	安	作業をする足元を確認して作業を行う
	シール部等も堆積物があがっていないようにする	大きい石がある場合に転がっていかないようにする	除去した石や堆積物が下に転がり人や構造物に当たる	×	○	×○	3	安	除去物を置く場所の確認。本線側には置かないこと。
	ブロワーまたは帚等で仕上げを行う	マス蓋が重い場合パール等を使用する	マス蓋を開ける際に1人で無理をし腰等を痛める 指を挟む	△	△	△△	3	安	パール等使用し2人以上での作業 マス蓋を直接手で持たない
	清掃終了後、完了した数量を確認する								
後片付け	忘れ物がないか全員で最後に現場周りを確認	梯子からの落下、フェンスで指を挟まないように注意							
現場離脱	現場から離脱する	安全に離脱する	一般車との接触する。	△	×	△×	4	安	離脱ルールの厳守・十分な減速を心掛ける。
			荷台から物を落とし、一般車に当たる	×	△	×△	2	安	現場離脱前に必ず荷台の点検・確認を行うこと。
									工事車両幕を取外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事